

令和4年度 第4回臨時理事会議事録

1. 招集年月日 令和4年5月30日(月)
2. 開催日時 令和4年6月24日(金) 午後2時00分から
3. 開催場所 仙台市青葉区中央4-1-8
ホテルモントレ仙台3階・ルツェルナ
4. 理事・監事の数及び出席理事・監事の数及び出席方法
理事の数 12名 内出席理事 11名
監事の数 2名 内出席監事 2名
5. 出席理事の氏名
高橋一則 桜井 真 田苗幸治 永山恵治 柏木信耶 兒玉直樹
中嶋 環 杉本信夫 山内清司 柳 成浩 高橋 聡
6. 出席監事の氏名
門田祐也 柳 成徳
7. 議長の氏名
理事長 高橋 一 則
8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当なし
9. 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果

第1号議案 経常利益(5月分)に関する件<報告事項>

1 検定書類、確認証紙の発給状況

5月末日現在

区 分	検 定 書 類			確 認 証 紙		
	検 定	認 定	計	検 定	認 定	計
当月受理件数	2,615	987	3,602	3,840	1,877	5,717
前年同月	2,756	817	3,573	3,926	1,107	5,033
増減率	-5.1%	20.8%	0.8%	-2.2%	69.6%	13.6%
年度累積	5,906	2,548	8,454	8,552	4,080	12,632
前年同期累積	6,041	907	6,948	8,540	1,293	9,833
増減率	-2.2%	180.9%	21.7%	0.1%	215.5%	28.5%

2 経営状況

○ 5月単月の営業損益

a営業損益				
売上総利益	13,033,291			
		販売費及び一般管理費	12,729,675	303,616
前年同月	12,673,869		11,343,212	1,330,657
差し引き	359,422		1,386,463	-1,027,041
増減率	2.8%		12.2%	-77.2%

b営業外損益等				
営業外収益	410,400	営業外費用	0	
貸倒引当金戻入	0	特別損失	0	
		法人税、住民税、事業税	0	410,400

当月純利益(a+b)	13,443,691	-	12,729,675	714,016
			前年同月	1,356,257
			差し引き	-642,241
			増減率	-47.4%

○ 5月末現在の当期純利益(累計)

a営業損益				
売上総利益	34,662,466			
		販売費及び一般管理費	25,477,436	9,185,030
前年同月	28,631,429		23,774,236	4,857,193
差し引き	6,031,037		1,703,200	4,327,837
増減率	21.1%		7.2%	89.1%

b営業外損益等				
営業外収益	14,400		0	
	0	営業外費用	0	
貸倒引当金戻入	0	特別損失	0	
	0	法人税、住民税及び事業税	0	
	0		0	14,400

当期純利益(a+b)	34,676,866	-	25,477,436	9,199,430
			前年同月	4,882,793
			差し引き	4,316,637
			増減率	88.4%

第2号議案 各種会議等開催結果に関する件<報告事項>

1 5月23日開催、全商協・2022年度第1回定例理事会結果

(1) 各委員会からの報告について

ア 社会貢献委員会に関する報告について

八坂委員長から次のとおり社会貢献委員会に関する報告があった。

最初に、東北遊商より、渡邊寛孝委員から、大久保成志委員への委員変更願いが提出され、委員の変更は、委員会設置規程により、理事会の議を経て会長が委嘱することになっておりますので、後程、審議を願いたい。

次に、5月10日に開催した第1回社会貢献委員会の報告について、最初に全商協の今後の社会貢献活動について協議を行い、一昨日5月21日に開催した、「鎮守の森のプロジェクト千年希望の丘ファイナル植樹祭」への参加状況を確認し、植樹祭へは、私(八坂委員長)も参加したが、5単組等から、計18名が参加したことが報告された。

次に、オレンジリボン運動の活動として、今年度のポスターコンテストについて説明し、5月9日で応募期間が終了したため、先般、オレンジリボン事務局よりポスターの作品リストが届いたので、本日の理事会終了後に、各地区の事務局へ作品リストを送る。

例年、各理事より10作品を選考し、投票数の多い順に全商協賞の選考作品としていたので、5月26日までに作品を選考し、全商協事務局へ連絡願います。

最終的に、6月1日開催のポスターコンテスト審査会で、今年度の全商協賞が決ま

るので、決定後、改めて報告する。

その他、委員会では各地区の社会貢献活動の予定を発表していただき、献血活動や清掃活動、ホール駐車場の巡回活動等、情報共有を行った。

なお、地区の社会貢献活動で、全商協ホームページや、業界誌への情報提供を行って良い活動については、引き続き、全商協事務局へ連絡していただき、広報への協力を願いたい。

最後に、委員より全商協の社会貢献活動の方針について確認があり、オレンジリボン運動への協賛と鎮守の森のプロジェクトの活動を各地区へご案内することを基本とし、各地区の社会貢献活動について、情報共有や意見交換を行いながら、活動していくことを確認した。

委員会の報告は以上となり、東北遊商からの大久保成志委員への委員変更願いについて審議した結果、異議なく了承された。

(2) 4月の会計報告について

4月の確認証紙発給枚数は、中古用が 61,902 枚、認定用が 24,337 枚で、合計 86,239 枚であった。4月の収益合計は、27,214 千円で、費用合計が 14,371 千円、差し引き収支額は 12,843 千円(黒)であった。累積収支額は 173,085 千円(黒)となっていることが事務局から報告された。

(3) 第 34 回通常総会提出議案について

第 34 回通常総会提出議案書について、事務局から内容の説明があり、諮られた結果、了承された。

また、中村会長から、今回は第 4 号議案として「中古遊技機流通健全化に関する全国遊技機商業協同組合連合会規約の一部改正の件」を議案として載せている。規約については、既に警察庁からも了承済みとなり、各理事や機械流通委員にも確認済みとなるので、総会提出議案として承認いただきたい旨の説明があり、了承された。

(4) 中古遊技機流通事業従事者技能研修に関する実施要領の施行について

中村会長から、通常総会において、全商協規約の改正が行われる予定となりましたので、規約に関連します「中古遊技機流通事業従事者技能研修に関する実施要領(案)の施行について」、この実施要領についても、警察庁は確認済みとなり、各理事や機械流通委員にも説明してあるので、異議等がないようであれば施行としたい旨、諮られ、了承された。

(5) 量定基準の改正の件について

中村会長から、同一代表者・同一法人が違反した際に対応するための量定基準の改正について、回胴遊商とも擦り合わせを行った結果、附則に追記することで対応する運びとなった。回胴遊商についても、全商協と同じ対応を取ることで確認がとれている。

配布した量定基準の改正案について、異論がなければ改正を行いたい旨、諮られ、了承された。

(6) 当面の諸問題等について

ア 5月18日開催の日工組とのスマートパチンコの中古移動に関する打ち合わせについて

佐々木専務理事から次のとおり報告があった。

最初に、スマパチの中古移動に関する件に関しては、費用の件も含め、前回からの進捗は特にない。日工組で継続して検討中である。

続いて、日工組より「遊技機の移動に伴う機歴連絡及び書類発給等依頼書の依頼項目に『センター登録』の項目を追加していただきたい」など、書類の変更や、データでのやり取りについて要望があった。

次に日工組より、「スマパチから枠制御基板と遊技球数表示装置等が実装されることに伴い、新流通制度に係る書類の一部変更を検討している。現行機とスマパチによって書類が2つに分かれると業務が煩雑になるため、ひとつの書類にまとめて運用できないか検討しており、内容が決定次第、改めて流通制度連絡会でご報告する流れとなるため、ご承知置き願いたい」と報告があった。

最後に売買契約書の特約条項に、コンプリート機能に関して記載する件は、雛形を日工組で作成するので、全商協の中古移動の際の書式として参考にしていただきたいと提案があった。

イ 5月19日開催の日遊協・定例理事会について

畠山副会長から次のとおり報告があった。

最初に、通常総会の提出議案について審議が行われ、決算関係報告及び令和4年度収支予算書、理事報酬の件、役員選任に関する件の説明が簡潔に行われ、決算関係については、昨年度と比較し、経常収益が6,330万円増加の4億2,960万円、経常費用は、3億7,920万円となったと説明があり、また、令和4年度収支予算書は、4億2,750万円を想定し、また、事業活動支出は4億680万円を予定していると説明があった。

役員選任に関する件については、日遊協の改選期に当たるため、役員候補者の説明があり、現行の役員から変更は無く、全員再任いただく予定となっていると説明があった。そのため、全商協においては引き続き、中村会長が副会長に、私(畠山副会長)が監事として再任する予定となる。

なお、新たな役員候補として、メダル補給組合より、(株)ジェッター代表取締役の藤原国明理事の推薦、平本副会長がご自身の申し出により、副会長から理事に変更となると併せて報告があった。

以上の総会提出議案について、異議無く承認された。

次に、西村会長より全日本遊技産業政治連盟の活動について報告があり、主な内容として「木村義雄先生と政治連盟の役員の方達にて、各団体の総会等に伺わせていただいている。6月22日の公示、7月10日に投開票となるが、風営法議連からご推薦をいただいた木村先生を、我々遊技産業として応援し、木村先生にもしっかりと遊技産業に対してお仕事をさせていただくということで、皆様からご理解をいただきながら、精一杯の応援をしていくことになっている。また、5月12日には、木村先生を励ます集いが開催され、会場の第一ホテル東京には約250名お越しいただき、多くの方達がZoomにて参加していただいたことをご報告させていただく」との説明

があった。

最後に、加盟団体会議の審議状況について報告があり、その中で、団体会員の加盟推進について西村会長より「会長就任以来、日遊協が横断的組織として21世紀会のような役割を果たしていくべきではないかと思ひ、本来の日遊協の役割、設立当時の目的等を諸先輩からご教授いただきながら進んでいこうと思っている。私だけの思いではなく、本来の趣旨の日遊協に立ち返り、役割を果たせる方向へ具体的に進めるように取り組んでいる。今は関係5団体に加盟していただいているが、加盟団体を増やしていき、しっかりと役割を果たせる団体に日遊協がなれるよう、具体的に動いているので、ご協力を賜りたい」と説明があった。

ウ 5月20日開催の全機連4団体による推進機構の在り方に関する打ち合わせについて

中村会長から次のとおり報告があった。

推進機構の在り方に関する打ち合わせが開催され、私(中村会長)と小西副会長が出席しましたので報告する。

冒頭、日工組の木岡専務より「前回の打ち合わせで、機構の今までの成果や実績は評価すべきであり、行政との信頼関係の維持、不正に対する抑止力の観点からも、機構の存在意義は今後も必要であることに異存はなく、機構の成果により不正が減少していることを確認した。その後、日電協から、機構の存在意義をどのように維持していくのか、また遊技業界の厳しい状況や不正が減っている現状を踏まえた上で、機構の存在意義や役割をどのように継続していくのが課題であるのご意見をいただいた」と発言があった。

これについて、日電協の吉国副理事長より「機構の在り方については、木岡専務のご発言のとおりである。仮に調査の対象がスマート遊技機になれば調査は軽減されると思う。前回の中村会長のご意見も十分踏まえた上で、対応できれば良いと考える」と発言があった

また、私(中村会長)より「前回お話しした通り、現状どおり機構の存在意義を維持できるような方向で考えていただければ幸いである」と発言した。

以上の発言の後、木岡専務より「機構の存在意義はとても重要で評価すべきものである、また、遊技業界の現状やスマート遊技機の導入に関する意見も機構にお伝えしつつ、機構の維持については協力をしていくという認識で了解を得たということとしたい」と発言があった。

今後については、機構の事務局を交え、雑談形式での意見交換を行うことになり、改めて日程調整をする運びとなり、この意見交換について、私(中村会長)より「機構の運営の中で何らかの支障があれば、我々もお手伝いができるように、情報交換が行えれば良いと考える。情報をいただければ、一生懸命協力をしていきたい」と発言をし、終了した。

2 6月14日開催、全商協・2022年度第1回機械流通委員会結果(zoom)

柳機械流通委員会副委員長から、次の6月16日開催、令和4年度東北遊商・第2回機械流通委員会結果に本委員会結果報告も含まれていることから、次の報告で一括説明する旨の発言があった。

3 6月16日開催、令和4年度東北遊商・第2回機械流通委員会結果
柳機械流通委員会副委員長から、委員会結果の報告があった。

(ホームページ掲載につき省略。)

第3号議案 第34回通常総会の総括に関する件<報告事項>

令和4年度・第34回通常総会議事に関し、今後、検討すべき次の事項等について総括を行った。

1 役員の待遇改善の一環としての役員退任慰労金規程の制定と旅費規程の見直しについて

現在、当組合には、役員退任に当たっての退職金ともいうべき退任慰労金制度自体がないことが、役員待遇に関し特に問題であることが、総会時の理事長挨拶でも示され、これに関し討議した結果、今後、他地区遊商の規程も見ながら、制定に向け検討して行くこととなった。

また、役員が出張する場合の交通費の在り方について、しっかり費用弁償ができる金額を規定する必要があることが討議され、次回の理事会までに、事務局において旅費規程改正案を準備し、審議することとなった。

2 部会の再編要望について

前回の各部会の再編でも、結論が出るまでには相当の期間がかかったことなどから、今後、高橋聡新理事を通じ、まずは、商社部会の意向をしっかりと確認していくこととなった。

第4号議案 社会貢献活動に関する件<報告事項>

○ 令和4年度における「献血活動強化運動」への協力要請について

杉本委員長から、現在も新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、輸血用血液の不足が解消されていない状況が続いていると報じられている中、社会貢献活動の一環として、組合員等に対して今年度も「献血活動」への協力要請文書を発出した旨の説明がなされ、改めて理事会の場で協力要請があった。

なお、献血期間は、期間を定めず(本年度中)とし、自主献血としたこと、また、協力者に対して移動経費程度の謝礼としてクオカードを進呈すること、組合事務局においても協力要請がなされたことなどの報告があった。

第5号議案 組合員の異動に関する件

○ 社名変更について<報告事項>

事務局から、次のとおり社名変更届があったことについて報告があった。

- ・ (株)エース電研 仙台営業所

新社名：(株)エース電研 東日本支社 仙台営業所(5月27日付け、5月27日届出)

第6号議案 その他

1 フェイム誌への季節広告の掲載について<審議事項>

フェイム誌代表友道氏から、フェイム7月号への夏季広告企画案の説明があり、審議した結果、名刺広告（各役員）4コマ50,000円（税別）及び暑中見舞い広告（全組合員、カラー2頁）820,000円（税別）の掲載依頼が了承されたほか、暑中見舞い広告の掲載レイアウトとして、B案の絵柄を採用することとした。

2 業界誌「暑中見舞い広告」に関する件〈審議事項〉

事務局から、アミューズメントジャパン誌への暑中見舞い広告の掲載の可否が諮られ、例年どおり1マス、30,000円（税別）で掲載することが了承された。

3 事務局の夏季休業期間について〈審議事項〉

事務局から、組合事務局の夏季休業について、全商協及びメーカーの夏季休業の状況等を踏まえ、8月11日（木）から同月16日（火）までとする日程案が上程され、審議の結果、上程案のとおりとなった。

4 令和4年度通常総会会議費の支出について〈報告事項〉

事務局から、5月26日開催の第34回通常総会の会議費が昨年度の半額程度の655,769円の支出額であったことが報告された。

5 令和4年度版「組合員名簿」及び「秋遊協会報」の広告掲載の依頼について〈報告事項〉

事務局から、秋田県遊技業協同組合から、「組合員名簿」及び「秋遊協会報」への広告掲載依頼があり、回答期限が今回理事会前であったことから、例年どおり、組合員名簿に3,000円、秋遊協会報に10,000円×3回の広告掲載の協力申込をしたことが事後報告された。

6 事務局職員の夏期賞与について〈審議事項〉

昨年の夏期賞与から微増となる、夏期賞与の基本を一応の基準とすることとし、支給日は、7月8日（金）とすることが了承された。

7 次回理事会の開催日について〈審議事項〉

令和4年7月15日（金）予定とする。

以上をもって、午後4時15分終了した。